

# つるおか芸文だより

第17回

## 鶴岡市芸術祭 開幕式典

第17回鶴岡市芸術祭 開幕式典・記念公演

「芸術文化でつむぐ鶴岡物語～創る～」



鶴岡北高等学校音楽部の合唱



主催者挨拶  
布川教育長



主催者挨拶  
東山会長

公演が、芸術祭参加公演として開催される。

今年「芸術文化でつむぐ鶴岡物語～創る～」をテーマに掲げ、9月から12月まで約3か月に渡り44団体による約35公演が、芸術祭参加公演として開催される。

当日は、ご来賓・関係者など、約270名が出席し芸術祭の幕開けを祝った。式典では主催者として布川敦教育長と東山昭子芸術文化協会会長が挨拶を述べられ、またご来賓を代表し、皆川治市長よりご祝辞をいただいた。

会場に響き渡る鶴岡北高等学校音楽部の「鶴岡市民歌」で幕開けした第17回鶴岡市芸術祭開幕式典・記念公演が、荘銀タクト鶴岡を会場に9月4日(日)に行われた。



祝辞を述べる  
皆川鶴岡市長

### 開幕公演に見た 未来共創力



特定非営利活動法人  
鶴岡市芸術文化協会  
会長 東山昭子

月光に照らし出される蕎麦の花の、銀白色の見事な秋に出会いました。干天に長雨、異常高温を乗り越え、生産者の緻密な努力で庄内平野は、稲刈りの時を迎え、豊穡の彩りに輝いています。県民芸術祭参加、第17回鶴岡市芸術祭もコロナ禍を越えて、開幕式典・記念公演を気品に満ちた活力あふれる展示と舞台で幕を上げることが出来ました。難波正喜実行委員長を中心とした教育委員会、理事など関係各位の明朗闊達な動きに、参加10団体の熱演と協力、鑑賞下さった市民各位に篤く御礼申し上げます。困難な時だからこそ、ご多忙の中をご臨席ご支援下さいましたご来賓や協賛者各位、長丁場にわたり審査下さる委員各位には格別の感謝を申し上げます。

「芸術文化でつむぐ鶴岡物語～創る～」は、2年目にして更なるレベルアップを見せ、特に世代を繋ぐ幼少者から高齢者までが、青壮年世代を中核によく結束し、コロナ後を展望させて下さいました。世代共創の高質の芸術性と、若い活力のコラボは未来創出の要です。閉幕まで気力・体力・芸術力を結集し合います。



令和4年度

鶴岡市芸術文化協会

# 功労者表彰

芸文協の運営・振興に貢献された方々

## 功労者賞



鶴岡市芸術文化協会 副会長  
鶴岡土曜会混声合唱団  
常任指揮者

柿崎 泰裕氏

長年、鶴岡土曜会混声合唱団常任指揮者として地域の音楽文化の向上に寄与され、また当協会の副会長として芸術文化の振興に多大な貢献をされました。



## 功労者賞

元白鷺社委員長

佐藤 定雄氏

白鷺社委員長としてその継承・発展に寄与され、また長きにわたり賞状の挿画と揮毫で鶴岡市芸術祭の運営に多大な貢献をされました。

## 令和3年度(第59回) 県民芸術祭賞受賞

### 奨励賞

### 「燦燦」

山琴箏会第33回記念公演  
●11月14日 中央公民館



山形県大正琴・文化箏愛好会

### 優秀賞

### 「みんなの音楽会」

創立75周年鶴岡放送児童合唱団定期演奏会  
●11月13日 荘銀タクト鶴岡



鶴岡放送児童合唱団

### 退任役員

令和3年度で退任された方々

- 後藤 和夫様
- 渡部 康様

大変お疲れ様でした



## 芸術委員会委員

(任期 令和4・5年度)

- 黄雞鶴岡歌会
- 裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区
- 鶴岡土曜会混声合唱団
- 榊引芸術文化協会
- 鶴岡市芸術文化協会事務局長
- 山形県大正琴・文化箏愛好会
- 朝日俳句の会
- 出羽庄内市民ミュージカル
- 日本九重流鶴城清吟会
- 書道研究 飛雲会
- ステンドグラス・光彩
- 劇団だいこん座
- 古流松應会庄内支部
- 日本九重流鶴城清吟会
- 羽黒芸術文化協会
- 藤島芸術文化協会
- 羽黒芸術文化協会
- 櫛引芸術文化協会
- 朝日芸術文化協会
- 温海芸術文化協会
- 稲京短歌会
- 田川民話の会
- 白鷺社
- 庄内写真研究会
- 鶴岡小品盆栽会
- 書道研究 飛雲会
- 錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部
- 鶴岡竹友会
- 柏樹会
- さゝ波会
- 剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会
- 鶴岡土曜会混声合唱団
- 鶴岡放送児童合唱団
- 鶴岡響友会音楽団
- 鶴岡ウインドアンサンブル
- 吉統舞踊学園
- 表現舎刻一刻
- 大日本茶道学会鶴岡支部
- 遠州流茶道山形支部
- 一般財団法人 小原流鶴岡支部
- 草月流山形県支部鶴岡地区
- 華道栖草流鶴岡支部
- Viviバレエスタジオ

- 佐藤 真
- 京子
- 加藤 香
- 宮田 宗
- 堀田 正
- 熊田 正
- 佐藤 公
- 阿部 香
- 伴部 淳
- 伴部 和
- 阿部 久
- 佐藤 里
- 市川 清
- 富川 星
- 上林 節
- 佐藤 時
- 五十嵐 千
- 帯刀 千
- 佐々木 春
- 鈴木 秀
- 本間 庸
- 荒木 利
- 渡部 充
- 大川 子
- 佐藤 弘
- 山本 身
- 丸山 兼
- 阿部 義
- 齋藤 敬
- 松本 武
- 古本 曉
- 佐藤 由
- 布川 美
- 渡部 一
- 三井 代
- 高井 千
- 渡部 子
- 梅津 芳
- 神原 賢
- 難波 喜
- 津原 一
- 小崎 泰
- 小林 健
- 山崎 昭
- 東林 裕

# 第17回鶴岡市芸術祭開幕記念公演

## 「芸術文化でつむぐ鶴岡物語～創る～」

第17回鶴岡市芸術祭開幕式典に引き続き開催された開幕記念公演では、「芸術文化でつむぐ鶴岡物語～創る～」をテーマに6団体による伝統芸能・合唱・ミュージカルなど、多様なジャンルと幅広い年齢層による公演が披露された。

また、エントランスホールでは、加盟4団体による作品が展示され会場を華やかに彩り、公演のステージとともに、ご来場の皆さまの目を楽しませた。



松根塾獅子天狗舞伝承班



山形県大正琴・文化箏愛好会&こども文化クラブ



即興音楽舞踏セッション



山形県立鶴岡北高等学校音楽部



出羽庄内市民ミュージカル



ハウオリフラススタジオ&こども文化クラブ



### 第17回鶴岡市芸術祭 開幕記念公演を終え

芸術祭記念公演 実行委員長 難波正喜

第17回鶴岡市芸術祭開幕記念公演は、新型コロナウイルスの状況を見据えながら感染防止に十分配慮しての開催となりました。当日は、会場の『荘銀タクト鶴岡』エントランスホールを、展示作品で飾り来場者をお迎えする中、ステージでは、加盟及び未加盟のジャンルの違う6団体が素晴らしい舞台をご披露され、市芸術祭開幕にふさわしい公演となりました。古きを重んじ、新たな芸術文化発展への挑戦のスタートになればと願うところでありませぬ。開催にあたりご協力いただきましたスタッフ、関係者の皆様にご感謝申し上げます。

# — エントランスホールでの作品展示 —



スタンドグラス“光彩”



古流松應会庄内支部



鶴岡さつき盆栽研究会



庄内写真研究会

## 令和4年度 こども文化クラブ事業について



【茶道】上郷地区放課後子ども教室

◎**こども文化クラブ事業の計画**  
鶴岡市の総合型文化クラブ事業補助を受けて実施となる「こども文化クラブ事業」は、子どもたちが芸術文化に触れ親しむ機会を通じて、豊かな心と感性を育み、次世代への継承・発展につながることを期待している。

今年度のスタートとして、市中央公民館との共催で市内全域の小学校児童を対象にした体験講座（造形教室）を6・7月に開催した。また、地域の放課後子ども教室と連携した講座は、8地区で5月から来年1月までの14分野69回の実施を予定している。加盟団体から派遣の講師等の皆様には、引き続きご協力をお願いします。

### 事業内容

- ①実施日 令和4年5月から令和5年1月まで
- ②分野 短歌、俳句、ちぎり絵、油絵、造形、スタンドグラス、尺八、文化箏、音楽、フラダンス、演劇、ミュージカル、茶道、華道
- ③会場 中央公民館、上郷、三瀬、由良、大山、西郷、湯野浜、鼠ヶ関、藤島

## 第17回鶴岡市芸術祭賞 選考委員

氏名	担当部門
小林 功	邦楽、日舞、民謡、民舞、吟詠
後藤 和夫	邦楽、日舞、民謡、民舞、吟詠
難波 正喜	邦楽、日舞、民謡、民舞、吟詠
齋藤 敬	邦楽、日舞、民謡、民舞、吟詠
堀 公明	洋楽
藤間静貴久	洋楽
伊達 克夫	洋楽
氏名	担当部門
佐藤 晃洋	洋楽
梅津 芳春	洋楽
市川 清治	洋舞、演劇、文芸
五十嵐悦郎	洋舞、演劇
鈴木 豊苑	洋舞、演劇
小林 健郎	展示、茶道、華道
佐藤 宗倅	展示、茶道、華道
氏名	担当部門
佐藤よし子	展示、茶道、華道、文芸
佐竹美津子	展示、茶道、華道、文芸
齋藤健太郎	展示、茶道、華道
布川美與子	展示、茶道、華道
佐藤 嘉男	展示、茶道、華道
柿崎 泰裕	文芸
榊原 賢一	総括(事務局長)

# 特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会 部門別加盟団体・地域芸術文化協会一覧 (68団体)

地域・部門	団体名称	代表者	電話
地域	藤島芸術文化協会	阿部 義郎	64-2111
	羽黒芸術文化協会	齋藤 敬	62-2111
	櫛引芸術文化協会	難波 正喜	57-2111
	朝日芸術文化協会	渡部 祐子	53-2111
	温海芸術文化協会	本間 庸枝	43-4611
文芸	きたぐに短歌会	芳賀 昌子	22-3117
	黄雞鶴岡歌会	東山 暁子	22-5991
	稲京短歌会	佐々木 秀子	23-9665
	俳誌「月山」鶴岡支部	阿部 月山子	64-5302
美術	白鸞社	齋藤 拓	33-1073
	鶴岡書道会	山本 良伸	33-4246
	畊雅会	阿部 律子	23-1323
	鶴岡小品盆栽会	上林 節男	22-1935
	如月会	梅本 幸仙	33-3425
	鶴岡和紙ちぎり絵サークル	小澤 紀美	24-6701
	庄内写真研究会	佐藤 時彦	24-3285
	鶴岡さつき盆栽研究会	岡部 誠	24-7844
	フォトサロン写楽	菅原 三枝	23-4642
	書道研究飛雲会	渡部 飛雲	22-2344
	K・I・Y	山澤 昭彦	22-1784
	◎ステンドグラス“光彩”	布川 美與子	23-0181
	邦楽	錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部	市川 清治
宝生流鶴岡五雲会		岡 眞理子	23-3074
山形県大正琴・文化箏愛好会		梅津 芳春	22-0770
鶴岡竹友会		佐藤 晃	23-9028
高橋理香箏アンサンブル		高橋 理香	090-9425-8824
庄内竹道会		渡部 滋人	23-9139
庄内謡曲愛好会		相馬 一廣	64-4791
佳興の会		岡 政雄	23-3074
日舞	藤静会	藤間 静貴久	22-1746
	柏樹会	坂東 久里菊	24-3684
	千川流	千川 貴楽	0234-24-4516

地域・部門	団体名称	代表者	電話
民謡・民舞	さゞ波会	佐藤 睦	35-3115
	淡井会	山本 淡井	24-5447
吟詠	日本九重流鶴城清吟会	松本 歆洲	23-9538
	九重流詩吟学会朝陽清吟会	百瀬 皓洲	23-1344
	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	佐藤 昌直	23-8510
民俗芸能	田川民話の会	帯刀 春男	53-2617
洋楽	鶴岡土曜会混声合唱団	阿部 淳二	23-9997
	鶴岡放送児童合唱団	伴 和香子	22-6399
	バウムクーヘン	小巻 千幸	0234-62-3968
	スイング・クレイズ・ジャズ・オーケストラ	橋本 祥造	25-0702
	男声合唱団デザミ・アンティム	阿部 純士	22-1058
	鶴岡吹奏楽団	大場 輝和	33-1000
	鶴岡響友会音楽団	堀 公明	22-5602
	鶴岡ジュニアオーケストラ	深澤 康之	22-9484
	鶴岡ウインドアンサンブル	加藤 聡	25-3227
	アンサンブル チコーニア	山澤 昭彦	22-1784
◎庄内金管合奏団	伊藤 聡	090-4886-1367	
洋舞	吉続舞踊学園	吉續 正義	22-5968
	V i V i バレエスタジオ	佐藤 京子	22-1667
	ハウオリフラススタジオ	伊藤 久美子	0234-24-2450
	◎ニケラベリーダンスカンパニー	地主 裕子	25-5305
演劇	劇団いでは	大館 一治	53-3052
	劇団だいこん座	佐藤 秀樹	23-5735
	表現舎刻一刻	佐藤 正一	73-3153
	出羽庄内市民ミュージカル	高山 千代子	64-2717
茶道	大日本茶道学会鶴岡支部	熊田 広樵	22-1256
	裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区	富樫 宗富	23-1553
	表千家同門会山形県支部庄内地区	豊田 宗文	64-2441
	遠州流茶道山形支部	堀 宗敬	73-2148
華道	古流松應会庄内支部	古本 理暁	24-6590
	一般財団法人 小原流鶴岡支部	宮田 眞由美	62-2884
	草月流山形県支部鶴岡地区	加藤 千香	0234-22-0610
	池坊	富樫 秀月	24-0813
	遠州山形支部	中野 美千	22-7757
	龍生派	飯田 洛翠	66-2304
	華道栖草流鶴岡支部	庄司 栖和	23-8704

◎印は新規加盟団体

## 編集後記

コロナ禍であったが今年の芸術祭開幕式典・記念公演は計画通り荘銀タクト鶴岡大ホールで多数の市民の参加により盛大に開催された。記念公演ではこども文化クラブの活動の成果も発表され、公演に出演された方々の一人一人が満面の笑みを浮かべている姿を拝見し心地よい気持ちになった。

ロシアのウクライナ侵攻による戦争等世の中に不安要素の多い昨今ですが、今こそ文化芸術の力を発揮し、皆で芸術祭を盛り上げ、これからの私たちの日々の生活が穏やかに過ごせるよう祈念しております。

(小林健郎)

## 特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会事務局

〒997-0346 鶴岡市上山添字文栄100番地 鶴岡市櫛引庁舎内

Tel : 0235-57-2008 Fax : 0235-64-0515

E-mail : tsuruageibun@tiara.ocn.ne.jp

<https://tsuruoka-geibun.or.jp>

トップ画面のQRコード

